

事業報告書

令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

●家畜共済関係

(引 受)

項目 区分		有資格頭数	事業計画頭数	引受頭数	引受頭数 事業計画頭数	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)+(B)
死 廃 共 済	搾乳牛	860	860	866	100.7	160,735,850	6,923,319	6,921,792	13,845,111
	育成乳牛	370	370	390	105.4	56,841,400	752,328	751,721	1,504,049
	繁殖用雌牛	230	185	177	95.7	27,317,300	235,846	235,545	471,391
	育成・肥育牛	3,360	3,035	2,879	94.9	658,696,750	3,037,260	3,030,643	6,067,903
	種豚	150	150	147		2,139,250	46,670	31,093	77,763
	肉豚	905	905	957	105.7	5,742,000	1,482	933	2,415
	計	5,875	5,505	5,416	98.4	911,472,550	10,996,905	10,971,727	21,968,632
疾 病 傷 害 共 済	乳用牛	820	820	813	99.1	11,330,000	4,844,927	4,844,820	9,689,747
	肉用牛	2,270	1,695	1,779	105.0	10,580,000	2,593,351	2,593,230	5,186,581
	種豚	140	140	105		10,000	759	505	1,264
	計	3,230	2,655	2,697	101.6	21,920,000	7,439,037	7,438,555	14,877,592
合 計		9,105	8,160	8,113	99.4	933,392,550	18,435,942	18,410,282	36,846,224

○ 前年対比：引受頭数 102.7%

○ 引受概況：肉牛で新規加入が4戸あったが、乳牛・肉牛・種豚で廃業があり引受頭数は微増となった。

共済金額は25,549千円減少し、前年対比97.4%となった。

(事 故)

区分	項目	死 廃 共 済				疾 病 傷 害 共 済	
		死亡頭数	廃用頭数	総頭数	支払共済金	件数	支払共済金
		頭	頭	頭	円	件	円
	搾乳牛	57	44	101	13,303,259		
	育成乳牛	3	1	4	592,600	800 (うち 子牛・胎子 44件)	10,183,121 (うち 子牛・胎子 44件 500,284円)
	(子牛)	8		8	223,990		
	(胎子)	13		13	465,213		
	繁殖用雌牛	2	1	3	325,800	771 (うち 子牛・胎子 230件)	8,216,663 (うち 子牛・胎子 230件 2,717,859円)
	育成・肥育牛	4	9	13	1,827,104		
	(子牛)	15		15	1,486,200		
	(胎子)	23		23	1,701,733		
	種豚	2		2	29,750		
	肉豚						
	計	127	55	182	19,955,649	1,571	18,399,784

○ 事故概況：共済金は38,355千円（前年対比89.3%）、死廃事故（前年対比80.1%）、病傷事故（前年対比102.1%）となった。

区分	項目	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源				実支払共済金 共済金
			保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	
		円	円	円	円	円	%
	家畜	38,355,433		36,846,224		1,509,209	100.0